

アマダイ通信NO. 124

(Tile fish network letter)

2018年 風薫る

知人・友人各位

長年連れ添う 2 歳違いの妻も 70 歳近く。娘の近くに引っ越し、孫の面倒を共にみながら余生を送る筈が、学校給食の栄養士の仕事を止めると足が痺れる、痛い、幻聴がすると、鬱から統合失調症の診断。夫婦の間も険悪に。手も強く震え、パーキンソン病の検査。症状が似る本態性振戦の診立て。日常生活にも支障をきたし、素人の🐟が半分出来合の調理済み食品に手を加え、料理のプロに食事を作り置く事態に。介護認定を受けると要介護 1 の判定。同居なので受けられるサービスは少ない。共倒れにならないためにはどうするか？

◎震災から 7 年・・人々の連帯を更に前へ！

東北の大震災から 7 年。東京で地震に直面した者でさえ、直後の余震の多発、交通、通信、電気の途絶に始まって、当日家に辿り着くのもままならず、大変な苦労が続いた。東北の太平洋側で被災された方は筆舌に尽くせない辛酸を舐めた。しかし、地震国日本で大震災は今に始まったことではない。三陸では 50 年周期くらいで大きな津波の被害が繰り返されて来た。半世紀ほど前、1960 年にはチリ地震津波があり、1933 年には昭和三陸地震が、1 世紀ほど前の 1896 年には明治三陸地震があり、この際の地震と津波では 2 万人以上の方が亡くなった。今回の震災で亡くなった方は 15895 人。明治初期の日本の人口が 3 千万人、第二次大戦後で 7 千万人、ピーク時で 1 億 3 千万人。単純には比べられないが、人口が増えた割に人的被害は少ないとも言える。これまでの教訓が生かされ、通信や交通、土木などの科学技術が発達、被害を少なくする施策が打たれて来たからだろう。

他方、怪我したり、家を失ったり、仕事を奪われたりした方へは不十分ながらも公的な援助の手が差し伸べられ、復興支援税という形で全ての国民が負担した。百年前、国民の生活は貧しく、国力も乏しく、被災された方の生活の再建は多くは個々人の努力に任された。大変だったろう。生産力の拡大、国富の増大、国民の生活に余裕が出来たのことは言え、国民の連帯という点で大きな進歩だ。世界各国からも支援の手が差し伸べられた。情報通信などの発達、人類の生産力の増大と共に人類の連帯という点でも画期的だ。

世界で未だ紛争は絶えず、核の脅威も現に存在する。しかし、人類が二足歩行を獲得、他の動物と違って道具を使い、火を扱うようになって、先ず他の動物との食うか食われるかの競争に打ち勝つ。狩猟採集生活から、農耕技術を獲得、生産性が向上、富の蓄積が可能になると、人間同士も相食むその日暮しの状態から富と支配領域を争うレベルへと発展する。農耕技術の発達と産業革命以来の科学技術の発達は空前の富の増大をもたらした。二度の大戦を経て、基本的に飢えから人間を解放、人類の連帯も可能にする。だが、争いも少なくなったとは言え、絶えない。地球誕生から 46 億年、地球の歴史も折り返し点に来て、水と大気が存在し、地球の代わりに人間の住める惑星の探索も行われる。

足が痛いと言う爺を慮ってか、4 月から少し遠くなった分園まで、抱っこを止め、手をつなぎ歩いて登園する 3 歳の孫息子。連綿と続く人間の世代のつながりが、人間居住環境としての地球が失われても、他の惑星で続くこと、更なる科学技術の発達と人類の連帯の深化がそれを可能にすることを願い、元革命少年、老小市民🐟は今日も同伴出勤を楽しむ。

◎変形性膝関節症・・膝痛治る！

左足膝の関節痛がずっと続き、特にゴルフの後で痛い。激痛だという訳でもない。痛くてびっこを引くわけでもない。スキーでは痛みを感じないし、ゴルフもカートに乗らず歩き通す。それでも階段を下りる時、椅子から立ち上がる時など傷みを感じる。ゴルフのスイングが悪いからだろうか？くらいに思う。今年の東京同期会のスケジュールを決めようと、能代高校同期、住友不動産副会長の小野寺君のところに、同じく同期でテクバンという社員 5 百人ほどのシステム会社の創業社長の高松君と顔を出す。ゴルフの名手の小野寺君でも膝が痛く、ヒアルロン酸の治療をしたら楽になったという。●の様には我流のゴルフで、ひどい打ち方をしなくても痛くなるのだから、加齢によるのだろう。

一度行ってみるか。何時間も待たされる勝どきの浜中医院と違って、本郷整形外科なら余り待たされることもない。それでも待時間に読もうと、日経新聞を入れた鞆を持参する。先客は一人しかいなくて、新聞を読む間もない。●さんと呼ばれ、膝の関節の内側の突起を触られると痛い。上からと横からとレントゲンを 2 枚撮られ、いきなりブスッ、ヒアルロン酸を注射される。結構痛い。左足膝の外側の軟骨が減って、がに股状になっているという。関節には血管がないからサプリメントなんか飲んでも効きませんよと先生。サプリメントは医者と薬屋の敵か？鮭の頭の軟骨の酢漬けの氷頭や魚の煮ごりが好きなんです、というのが、今日食べて、今日の痛みに効く訳でもない。

鶏ガラスープに鶏の頭や軟骨を叩いた団子も入ったキリタンポや、氷頭ナマス、煮ごりが大好きだったのに、18 歳で田舎を出てから食生活が変わったのが悪いのか？この先、10 年、20 年生きて、ゴルフやスキー、水泳、孫との同伴出勤を楽しむためには、好きな氷頭や煮ごり、キリタンポ鍋を食べた方がいいのだろう。尤も 20 年も生きたら、曾孫との保育園への同伴出勤も楽しめそうだ。客が●の他に一人では気になるが、事務所の近くで、待たされないのはいい。5 週間ほど通いなさい、そのあとは注射は隔週に一回でいいという。4 回目、ブスリと膝に注射。痛い！立ち上がれない！あら間違えた。筋肉に注射した。直ぐ吸収されて痛くなくなります。この藪め！と思うが、それを境に、痛みがきれいに消える。痛みが消えても二週間に一回注射に通いなさいと言われるが、痛くなったら行けばいい。二か月近くなるが膝は快調。藪なのか？名医なのか？

◎産みの苦しみ！？女は偉い！

朝 6 時過ぎ、いつもの様に朝食後トイレに。スムーズ過ぎるくらいスムーズなお尻が、何故か言うことを聞かない。いくら気張っても駄目。お腹は痛くないが、トイレを出ると直ぐ又、催す。又、トイレに座って気張るが駄目、を繰り返す。多分生まれて初めての便秘、「産みの苦しみ」を味わう。お腹は痛くないが、気張るほど肛門が痛い。連合いが常用の便秘薬を貰って飲み、冷たい牛乳も飲むが、「死んだ子」が出て来ない。便座に上がって気張るといいと、便秘のプロのアドバイスに従うが駄目。気になり血压も 2 回計るが、何回も気張ったからか、上が 211 と 191。バスツアーで、サービスエリアのトイレで亡くなった高血圧症の知人がいるが、便秘は高血圧には鬼門。肛門に鬼が住むと鬼門になるのか？

ずっと便座に腰掛けていると立っているより楽で一時的平和。娘に電話、保育園への孫息子との楽しい同伴出勤も権利放棄。10 時半の営業のアポも顧問先単独で行って貰うが、永遠にトイレに座して待つ訳にはいかない。クリニックも浣腸を買う薬局も開いていない。

糞詰まりで救急車を呼ぶのは如何かと思うが、背に腹は変えられない。119 番に電話、事情を話すと救急車を寄越すという。近くの昭和大江東豊洲病院へ、ピーポ、ピポ。

ベテラン医師がついて新米医師を研修中、色々検査させてくれという。目や口、手足を色々動かしての検査をベテラン医師と新米医師が一度ずつ、ご丁寧に1つの検査を二度ずつやる。脳には異常がない、高血圧による異常はないという。誰かがモルモットにならないと医療が進歩しませんからと、わざわざすることもないと思うが、腹部のレントゲンまで承諾、撮って貰う。

レントゲンで動いたからか、又便意。トイレに入るが、ダメ。再度産みの苦しみが続く。診察室に戻るが、特に策はなし。家で飲んだ便秘薬、酸化マグネシウムは効くのに2、3日かかりますという。取り敢えず、鬼門からは脱出しないといけない。浣腸しましょうかということに。壁に体を向けてベッドに横たわり、ズボンとパンツをずり落とし、お尻から浣腸剤を挿入。内視鏡の挿入と同じで、挿入時少し痛い。5分ほど排便を我慢して下さい！と言われるが、急に便意を催しトイレに。腰掛けたところで我慢出来ず、浣腸剤を漏らしてパンツを汚す。どうにか双子の「水子」の片割れが出て来てくれて、少し楽に。大丈夫ですか？とドア越しに看護婦さん。パンツを汚してというと、紙おむつをくれる。紙おむつ初体験。浣腸と紙おむつの初体験で半日潰す。

小腸で水分を吸収、大腸で水分を最終調整して「水子」が出来るが、気候が変わって急に暑くなり、汗を沢山出すと「水子」が固まり出にくくなると医者。娘は野菜不足じゃない？というが、普段は通じは良過ぎるくらい。昼食の後のゴルフではお尻が落ち着かず困ることも。特に変わった物を食べた覚えもない。やれやれとお昼を食べて、「水子」の片割れも排出。一件落着。翌朝もスムーズにスタート出来るか？心配になる。念のため貰った、ガスを発生、腸に刺激を与え、30分ほどで楽になるという座薬を使わず、孫息子と楽しく同伴出勤。翌々朝は4回トイレに。ようやく酸化マグネシウムが効いてきたか？

◎新堂幸司先生・人生百年時代の「ライフシフト」

3月半ばの日曜日、今シーズン12回目、岩原スキー場での最後のラン。前日有楽町駅で新幹線の切符を買うが、週末の上越新幹線は凄い混み様。思い通りの切符は取れず。朝東京駅8時発、帰り越後湯沢駅7時40分発。忙しくて読めず溜まった、3日分の日経新聞持参の手ぶらスキーは、シャトルバスで先ず岩原のマンションへ。9時20分発は満員。次の30分発に乗る。マンションでスキーヤーに変身。お昼、コーヒーブレークを挟み未圧雪コブコブ上級コース波乗りラン2本含め15本の滑走を楽しむ。

いつもの食堂「山しん」で、マスターや常連客と軽口を飛ばしながら、モツ辛口煮込みうどんを肴にビールを楽しんでいると、顔馴染みになった民事訴訟法の大家、「恩師」新堂幸司先生の奥さんが爽やかに登場。小柄で小太りだった先生、背は縮んで私と同じくらいになって、健康にと減量を心掛け、痩せましたよと奥様と話しているところに先生。懐かしい、人懐っこい顔。1931年生まれの先生、120歳まで生きるんだと食事に気を遣い、運動に励んでいる。東大や愛知法科大学院で教鞭を取り、各々の名誉教授だが、今は教鞭は取らず、新堂・松村法律事務所で弁護士として活躍、いわゆる「新堂幸司本」新民事訴訟法第5版を、弘文堂から2011年に出版するなどまだ現役で活躍。今話題、人生百年時代の「ライフシフト」を地で行く先生！刑法の大家団藤重光先生はじめ東大法学部の先生は、

東大を定年退官、名誉教授になると定年の遅い私学の先生になり、更に弁護士などで活躍する。団藤先生の場合は確か慶大の先生から最高裁判所の裁判官になった。昔から学界、法曹界で活躍する人生百年時代の「ライフシフト」が用意されていた訳だが、凡人はそうはいかない。あらゆる場と機会を利用して教養を積み、人脈を広め、スキルを磨き、人生を楽しむと共に、他人の役に立てるように自分の価値を高めていく必要がある。

前列は憚られ、大きな階段教室の最後列で一度新堂先生の刑事訴訟法の授業に出てみた。駒場に7年いる間に7回留置場に入り、7回目に起訴され未決で足掛け3年中野刑務所の独房に拘留。「実地研修」済みの刑事訴訟法は多少頭に入るが、馴染みのない民事訴訟法は全くちんぷんかんぷん。法律の試験は六法全書持込み可で、他の科目は判例付きの「模範六法」(三省堂)を持参、設問事例と似た判例を探し出し、理屈をこね、もっともらしい答を書きどうにか可を貰う。解らないながらも最もらしい解を出すのも一つの才能か。新堂先生の試験にも同じ要領で臨むが、全く歯がたたず成績は不可。そんな話をして、大先生とエールを交わす。先生は一皿のカレーライスと奥方と二人で一緒に食べて楽しそう！

3時20分までのシニア5時間券を目一杯使ってリフト15本分を滑り終えても7時40分の新幹線まで、たっぷり時間がある、有過ぎる。もう一度山しんへ。外のベンチに腰掛け、野沢菜漬を着て青空の下で缶ビール、気分がいい。マンションで着替えてシャトルバスで駅へ。たっぷり2時間以上ある。駅中のカフェで先ず甘酒、朝の新幹線で読みきれなかった前日の日経を読み終え、地場ブランドの妻有ポークや越後牛に合う地ワインがありますという、地産・地消のお題目につられ、小綺麗なレストランで、コストパフォーマンスの悪い夕食、当日の日経に目を通す。地産・地消の睡眠導入剤の効果で新幹線ホテルで爆睡。岩原でのスキーシーズンが終わる。

◎久し振りの江南・・ 電脳「社会主義」を垣間見

春休み小3の孫娘と久し振りの中国江南駆け足ツアー。上海蟹(モクズ蟹、日本では採ってもすり潰して出汁にしかしない所が多い)は食べるどころがなく、美味しいと思わないが、空港などに飲み物の自販機が置かれ、蘇州の江南大学の周りに先端産業の研究所や工場が集積するのには目を見張る。素材やバイオ、IOT、AIなどの先端技術が北京や上海の大学のみならず、蘇州の様な地方の大学の周辺にも集積、欧米からの留学帰り(海亀族)の頭脳も集め、先端技術の開発が進む。街角の至る所で見るとシェア自転車も結構整然と使われている。空港やモールなどの室内とは言え、飲料水の自販機が使われ、自転車も整然とシェアされている。携帯電話のアプリと連動、個人認証にも使われ、ビッグデータとして集積され、数値化されることで個人の信用度の物差しともなる。自分さえよければという中国人の個人主義も変わりつつあるのか?信用を重んじ、他人にも配慮することが全体最適をもたらすということに、彼らもようやく気付つつあるのか?

今回は琵琶湖の三倍半の面積の広大な太湖の周りをバスで巡り、そのグリーンベルトの長大さをあらためて確認。周囲の広大な公園の緑とそこに遊ぶ家族連れや市民。凧揚げしたり、テントを張って寝そべったり、網で小魚を掬ったり、平和に遊ぶ市民の楽しそうな光景が新鮮。衣食足って礼節を知ることか?

労働コストが上昇したとはいえ、巨大工場の群れに「世界の工場」の健在も感じる。所々で物乞いもまだ見かける。トイレもきれいになったが、まだまだ。中国式電脳社会の先に、

「共産党宣言」でマルクスが書いたように、単純な仕事は（パソコンやロボット、自動運転車、ドローンなどの）機械が行い、人間はスポーツや音楽、芸術や文学やらの感性を磨き、知的創造的「仕事」にどっぷり耽る。それでいて生産性が向上、「能力に応じて働き、働きに応じて取る」社会から、「能力に応じて働き、必要に応じて取る」豊かな世界が実現出来るのか？

「癒しの楽園南インド紀行8日間」(Ⅲ)

('17.9.16 ~ 23、クラブツーリズム)

⑤マドゥライ

空港からレストランに直行するも、アルコールはないという。食後、町のシンボル、ミーナークシー寺院へ。ドラヴィタの女神ミーナークシーがシヴァの妻として祀られ、カラフルでユーモラスな神々の像で埋めつくされた高さ60mにも及ぶ巨大な東西南北の塔門は圧巻。壁面を埋め尽くした極彩色の神々や怪物、動物には威厳というより親しみが感じられる。ヒンズー教故か。寺院内でも神への供物が売られるが、塔門の外には門前市が広がり、神様への供物だけでなく、あらゆる物が売られ、リキシャワラーの掛け声、売り子の呼び込み、拡声器から聞こえるインド音楽などで騒々しい。人口百万人を越えるタミールナド州第3の都市だが、お寺で持っているのだという。この世に神というものが存在するなら、こんなにも崇め、奉っているのだから、インド13億の民はとっくに皆裕かで平和な生活をおくれている筈なのだが、未だ貧困はなくなり、格差は拡大、宗教戦争・殺戮、女性への集団暴行や殺人も絶えない！貪欲な神様はどこまで貢げば願いを叶えてくれるのか？ 虐げられた人々を庇護するといつまで騙し続けるのか！と無神論者🐟。

次いでミーナークシー寺院から南東1キロのティルマライ・ナーヤカ宮殿へ。1636年、この地方を治めたティルマライ・ナーヤカ王が建造。ミーナークシー寺院とは全く違う、ヒンドゥー建築とムガル建築の融合した、インド・サラセン様式だったが大部分が破壊され、王冠の間、謁見の間など一部が残るのみ。奥は博物館になり、地域の文化財が展示される。ガランドウで、美しい天井からは鳩の糞が虚しく落ち、積る。鳩の糞害は洋の東西を問わず悩みの種だが、その昔は如何だったか？

続いてインド独立の父、ガンディーの記念博物館へ。ガンディーを支持する民族資本家の富豪から寄贈された白亜の豪邸。国内に幾つかある内のひとつ。イギリスから独立するまでの資料の展示や、写真や絵でガンディーの生涯を説明する。綺麗に芝の張られた広い中庭。1947年8月のインドとパキスタンの分離独立前後、宗教暴動の嵐が吹き荒れ、ガンディーは何度も断食、身を張って防ごうとするが、ヒンドゥー原理主義者はガンディーはムスリムに対して譲歩し過ぎと非難、1948年1月30日、ニューデリーのビルラー邸で(ガイドのチョウハンさんはマドゥライの自邸の庭でと話していたが、間違い！)、ヒンドゥー原理主義集団民族義勇団の一員によって銃撃され、暗殺される。マドゥライの博物館の庭の一面にはガンディーの遺骨の一部が納められた墓がある。アジア系の団体客も。シワ深く赤銅色に日焼けした顔の、小柄な老人達。コルカタなど東インドに多いという。インドにムガル帝国を打ち建てたモンゴル人の末裔。

ホテルで夕食。ようやくありついたビール中瓶が450ルピー(1ルピー1.7円)。ホテルのルームサービスでとった方が安い。カールスバーグが319ルピー、他が175から275ル

ピー。モダンなホテルの広めの部屋の洗面のボールにはオーバーフローの穴はなく、止水栓もない。日本人のような細かい配慮はない。排出口に持参のプラスチック止水盤をおいて洗面、そのまま置き土産に。

⑥インド最南端、コモリン岬へ

4日目はマドuraiからインド最南端のコモリン岬へ、田舎道を6時間のドライブ。揺りかごに揺られるかの如くバスに揺られ、皆が居眠りをする前の朝の一時はガイドのチョーハンさんの活躍時間、「インド概論」の時間だ。インドの大学の最高峰はデリー大学だ。ヒンドゥー語ではなく、英語で授業する高校が大学受験には有利だが、授業料が年80万円ほどと高い。卒業後更に2年間MBAで学ぶ場合も。デリー大卒の初任給は月7万円くらいだが、2年くらいすると20万円くらいになるとのこと。理系はインド工科大学(IIT、工学と科学技術専門のインドの16の国立大学)も研究、教育水準の高さが国際的にも認められ、入試も難しいが、卒業生は世界中から引っ張りだこ。結婚は見合い結婚が90パーセントで、同じカースト同士が普通。ガソリンはリッター145円ほど、高速道路は有料だが、専用ではない。信号があったり、自転車や自転車式人力車のリキシャ、牛まで走っていたりする。自動車専用的高速道路はデリーの2ヶ所だけだという。道路などのインフラ整備はまだこれからだ。低金利と少子高齢化でビジネスチャンスに苦しむ日本の銀行や保険会社、ファンド等の金融機関、商社、ゼネコン、エンジニアリング会社、鉄道会社、電力会社などにとって、インドのインフラ整備に貢献、ビジネスを広げるいい機会ではないだろうか。

一人、二人とうたた寝を始めると、「インド概論」の講義も終わる。いつの間にか夢うつつだったようだ。皆が「同床異夢」から覚めると陽は高く上っている。田舎のドライブインARIYASでカリーの昼食。料金の別は分からないが、屋外のテラス席と屋内、更にエアコン付の席と分かれる。煮炊きの燃料は薪。東大の地震研究所で研究したことがあるという先生夫妻もAC席で食事。チョーハンさんと話している。マンゴージュースは中々の味で50ルピー、ヨーグルト、タピオカのデザートを含め、金属の大きなプレートに小さな金属のお椀が10個以上、美味しくないナンと、更に薄い煎餅と白いライス、美味しいモンキーバナナを食べ、再びバスに乗る。

緑の平原をバスは走る。大きなセメント工場が煙突から白い煙を吐き出し、石灰岩を運ぶ車が列をなす。水を湛えてゆったりと川が流れ、川べりでは子供達が水浴びを楽しみ、大人達は洗濯に勤しむ。山羊の群れがナツメ椰子畑で草を食む。そんな光景が終わり、バスは赤茶けた岩山を上る。岩山を越えると、又、大平原が広がる。更に進むと赤茶けた土地におびただしい数の風車が林立、バラックが続く。煉瓦工場だろうか？赤レンガの煙突もそびえる。左手には岩山が続き、右手には行けども行けども風車が立ち並ぶ。風車の柱には「VECTAS」などの製造メーカー名。メーカーは様々、羽も3枚だけでなく2枚のものも、支柱もコンクリート製もあれば鋼鉄製も。円筒型だけでなく、鉄製のヤグラもありと様々だ。時間をかけて造られた感じだ。それにしても何と夥しい数。かつてスペインを訪れた時、機上から見下ろすピレネーの山々の尾根という尾根に連なる風力発電の白い風車の群も圧巻だった。中国西域の旅で新疆の省都ウルムチからトルファンへの途次、かつて三蔵法師も天竺(インド)への旅で苦労したという、見渡しても石以外に何も見えない、石漠に延々と続く風車の群にも度肝を抜かれた。狭い国土にチマチマと造られた日本の風車

と何と違うことか！国土の狭さ、自然条件、社会条件の違いを忘れ、日本人のそして己の、スケールの小ささまで恥じ入るような気分に一瞬陥る。それにしても農村とは言え、人間が日々の暮らしを営む傍らに延々と続く風車の群。発電事業者も様々ながら、畑の真ん中の大きな基礎の上で、風任せに回ったり、回らなかつたりする無数の風車。その気ままな風車の下で、それまでと同じ様に農婦は畑を耕し、羊が草を食む。そして農夫には借地料が入るのだという。所々に怪獣の様な鉄塔がそそり立ち、高圧送電線が走る。電力の地産地消は出来ているのだろうか？電気の光はこの地の闇まで明るく照らしているのだろうか？

◎先祖帰りしたプーチンのロシアと国際情勢

・東大三鷹クラブ第138回定例懇談会のご案内

ロシアでは3月に大統領選挙が行われ、プーチンが圧倒的な得票により再選を果しました。この任期(6年)が、プーチンの長期政権のしめくくりとなるものと見られています。

今回の定例会では、プーチン体制の下でのロシアの動向に焦点をあてて、ロシア研究の第一人者、袴田茂樹先生(新潟県立大教授、昭和38年入寮)にお話をうかがいます。袴田先生には、旧ソ連邦崩壊後の混迷から脱しきれなかった1999年1月の第23回定例会で講師をお願いしました。当時大統領だったエリツインは、任期途中で辞職を余儀なくされ、その後を継いで、プーチンが2000年5月、正式に第2代大統領に選任されました。

プーチンに幸したのは、世界的な原油価格の高騰でした。豊富な石油産出量を背景に、経済の立て直し、産業の振興に成功し、政権基盤は確かなものとなりました。その後三選禁止の規定により、一旦首相に退いた4年間を含め、18年の長きにわたって君臨したプーチンのロシアは、冷戦終結後の新たな世界秩序の下でも、アメリカに対抗する大国としての地位を高めることに努めて来ました。また、領土の問題への強い執着を示し、ロシア国内はもとより、旧ソ連邦から独立した国々に対しても、軍事介入を含め、あらゆる手段を動員して、影響力を強めつづけています。

袴田先生は、プーチン体制を「先祖返り」と総括しておられますが、現にプーチンは「同盟国も裏切る。信頼できる同盟者はロシアの軍隊のみ」と述べたアレクサンドル三世を深く尊敬しており、2014年クリミア半島を事実上武力で併合しました。プーチンはその成果を記念して、クリミアの地にア三世の銅像を建立しています。

しかし、ウクライナをめぐる紛争は、現在も継続中であり、アメリカやEU諸国は、ロシアに対して経済制裁を行っており、これがロシアの経済運営に大きな影を落しています。

中東に目を転ずると、ひきつづきシリアの内紛が、米ロ間の対立のホットな火種となっています。両者が協力して対処して来たISが制圧された後、局面は微妙に変化し問題は一層複雑化しています。

中国との関係は、表面的には極めて良好ですが、一帯一路構想の進展に伴い、中央アジアの地域で、両者の利害が抵触することも想定されます。

北朝鮮への対応について、米ロの姿勢は異なっていますが、中ロの主張するよう金正恩に平和交渉で核開発を放棄させ得るのが議論の的です。最後に日本との関係では、領土問題は避けて通れない事項であり、日本側の思惑は、果してプーチンの真意と摺り合わせる事が出来るのか懸念されます。

プーチンのロシアをめぐる国際情勢は、困難な課題が多く、時間は限られていますが、先生の突込んだお話とともに、出席者との間で熱心な質疑応答が交わされることを、大いに期待しています。(平賀 記)

日 時 : 平成 30 年 5 月 21 日 (月) 18 時 30 分~21 時
場 所 : 学士会館本館 203 号室 (千代田区神田錦町 3-28 TEL 03-3292-5931)
会 費 : 6000 円 (会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み)
二次会 : 別途 有志による二次会を、すずらん通の中国料理店 SANKOUEN にて開催予定
定 員 : 50 名 (先着順: 定員を超えない限り特に連絡は致しません)
申込先 : 平賀・干場 FAX 03-5689-8192 TEL 03-5689-8182
(有) ティエフネットワーク Email : tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎アルコール抜きの新入生歓迎会に車で!

夏目のような 4 月 22 日の日曜日、埼玉の小川カントリー、関越道嵐山小川インターから車で 10 分、朝は空いていることが多いので、銀座から関越道に乗って 1 時間ほど。東武東上線でも池袋から小川町まで直通 70 分。4 月、5 月でもメンバー同伴休日セルフプレービジターフィーは昼食付 (1200 円) で 1 万 3 千円と、仲間を誘い易い (皆様も如何?)。三鷹寮の仲間を中心に、2 組、メンバー 4 人、ビジター 3 人で汗かきかきプレー。前半パーを 3 つも取り 50、後半久し振り百突破と意気込み、アップダウンの多いコースで、カートに乗らず歩くゴルフを貫徹するも、いいところなく 56。百突破の夢再びは今日もならず。

終わってアルコール抜きの寮の新入生歓迎会に車を飛ばす。三鷹クラブ差入れの寿司桶持参、1 年先輩の辰さんと、孫ほどの年齢の新入生と交歓。寮生諸君はアルコール抜きでも盛り上がるが、半世紀以上前、新入生歓迎会で初めて酒を飲まされ、こんなまずいものかと思いつつ、気分が高揚、袴を脱いで、忌憚なく話し合えるコミュニケーションツールと知り、欠かせなくなった。東京銀行 OB で海外が長く、中東経験もある辰さんと、イラン人みたいに酒なしで盛り上がれるんだね! と途中退出。

時々夜の東京に寮生を誘い出し、コミュニケーションツールとしてのアルコールの飲み方を教え、併せて日本の食文化も伝えていきたいと、走る首都高の夜風が頬に心地いい。

◎全共闘 50 周年 (結びに代えて)

寮の新入生歓迎会の前日夕方、渋谷文化村オーチャードホールの加藤登紀子さんのコンサートへ。愛・平和・反戦の歌声を楽しむ。コンサートツアーの初日、立ち上げのメのパーティーにも闖入。取敢えず集まった、来年の安田講堂攻防戦 (全共闘) 50 周年記念実行委員会「準備会」の出版企画会社経営の前田君、訪問クリニックを運営する堂垂医師の同窓 3 人で、お登紀姉さんに協力をお願い、いい感触。

お登紀さんとの出会いは 1968 年の 3 月か? 卒業式粉碎! を叫び東大全共闘は卒業式会場の安田講堂に突入、式は中止、各学部に分散して開催。安田講堂前の広場で集会、氣勢を上げる全共闘の隊列に、文学部での卒業式を終えたお登紀さんが、ヘルメットにジーパン姿で加わり、仲間に。

あれから半世紀、日本最後の革命運動を担い、世界に先駆け少子高齢化する日本の前線に位置する全共闘世代が、多世代が連帯・共生する道を切り開いて行ければと思う。(再見)